

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月17日

計画の名称	被災地域を災害に強い安全なまちよみがえらせる復興まちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	広島市												
計画の目標	平成26年8月に発生した広島豪雨災害で被害が大きかった地域について、防災に有効な都市基盤施設整備を集中して行うことで、被災地の早期復興に寄与し、災害に強く安全・安心に暮らせるまちの実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14,674	A	14,674	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	本市が策定する「平成26年8月20日豪雨災害復興まちづくりビジョン」で位置付けた、被災地域内の広域避難路（都市計画道路）の緊急整備を5年間の集中復興期間で行い、防災機能の向上を図る。 被災地域内の広域避難路（都市計画道路）の整備率 被災地域内の広域避難路（都市計画道路）の改良済み延長 / 被災地域内の広域避難路の計画延長	0%	50%	100%
2	- 被災地域内の浸水対策の整備率 長束八木線ほか1路線周辺の浸水被害発生区域面積 / 長束八木線ほか1路線周辺の浸水被害解消区域面積	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	長束八木線ほか1路線	道路改良 L=1.75km	広島市						5,511	-	
	A01-002	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	可部大毛寺線ほか1路線	道路改良 L=1.2km	広島市						2,263	-	
											小計						7,774		
下水道事業	A07-003	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠(雨水)	新設	長束八木線ほか1路線地 下部雨水渠新設(八木雨水3号幹線)	開削・推進・シールド工(500~5250) L=3.0km	広島市						4,002	1.64	-
											河川との共同施設								
											小計						4,002		
河川事業	A03-004	河川	一般	広島市	直接	広島市	-	-	長束八木線ほか1路線地 下部雨水渠新設(八木雨水3号幹線)	開削・推進・シールド工(500~5250) L=3.0km	広島市						2,898	1.64	-
											下水との共同施設								
											小計						2,898		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 都市整備局都市整備調整課で評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年3月
	公表の方法 広島市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画に位置付けた被災地域内における広域避難路（都市計画道路）の整備及び浸水対策施設整備が完了し、災害に強く安全・安心に暮らせるまちの実現に向けて効果が発現している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
被災地域を災害に強い安全なまちによみがえらせる復興まちづくり（期）（防災・安全）にて引き続き、被災地域内における広域避難路（都市計画道路）の整備を進め、災害に強く安全・安心に暮らせるまちの実現を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%